

陳 情 書

令和7年7月17日

垂水市長 尾脇雅弥 様

陳情者 住所 垂水市上町76番地3
氏名 垂水史談会会長 瀬角龍平
電話番号 0994-32-5728
090-2586-1714

(件名) たるみず博物館（仮称）の設立について

(趣旨)

歴史文化資料館建設については、平成28年（2016年）年11月14日に「歴史文化資料館建設を求める請願書」を垂水市議会に提出、同年の12月議会にて採択されました。しかしながら現在に至るまで、建設の方向は示されておりません。

現在、文化会館等の市管理施設や垂水市内の個人宅等には、先人たちが残した貴重な歴史史料や記録調査によって発見された埋蔵文化財などが保管されております。しかし、特に個人所有の資料等は年とともに保管・保存が困難になりつつあり、その所在が不明となるなどの事態が危惧されております。

また、資料等は保管するだけでなく、適切に展示・解説し、市民その他に広く周知することで、郷土教育や地域の魅力の発信において、大変重要な意義を持っています。こうした観点から、市教育委員会と垂水史談会では、図書館の一角を用いて年数回の展示等を実施しておりますが、そのたびにパネルなどを文化会館より運んで設置展示している状況にあります。

このような状況を解決する「常設展示室」の設置は、国の重要史跡である垂水島津家墓所や、国指定級と言われている終原貝塚などの垂水市の歴史文化を発信するうえで大きく寄与するものと考えます。

さらに、垂水市は、桜島・錦江湾ジオパークに含まれるなど、歴史的側面だけでなく、自然や文化の側面から見ても、豊かな財産があります。しかし、垂水市の豊かな自然や文化に興味・関心を持っても、体系的に学び体験することが難しい状況があります。そこで、歴史・自然・文化の面を網羅する展示施設が垂水市に設立できれば、桜島・錦江湾ジオパークの魅力発信や、和田英作・香苗顕彰事業等における絵画作品の長期展示など、現在行っている垂水市の取り組みをさらに発展させることができるものと考えます。

以上のような理由から、文化財の管理等に限らず、ジオパークの魅力発信や文化事業の発展のため、歴史文化資料館としての機能を含めた、垂水市のビジターセンターとしての「たるみず博物館（仮称）」の設置と、そのための計画的かつ具体性のある取り組みを求め、陳情いたします。